

男女共同参画審議会会長

やすつね まき
安恒 万記 さん



政庁通りを西日に向かって歩いている時、朱雀大通りを大宰府政庁跡に向かう時、観世音寺や光明禅寺に佇む時、ふっと奈良で過ごした大学時代を思い出します。

万葉集と古事記の「万」と「記」を名付けてくれた父は、私が奈良で学ぶことになった時、そして、その後太宰府で働くことになった時、「万葉集と古事記の縁があったんじゃないなあ」と感慨深く言ったものです。大宰府は「安恒」縁の地でもあり、義父もとても喜んでくれました。天満宮の絵馬堂には義父の作った額縁が今も掲げてありますよ。

奈良で学び、太宰府で働いてきた、そして女子大に学び女子大で働いてきた年月は、まっすぐな一本道ではなかったけれど、私の人生の2/3近くを占めることとなります。

世界がジェンダー平等に努力しつつも、コロナ禍が社会の分断を加速しているように思える今、改めて女子大の意義を考えます。弱い人が声を上げやすく、誰もが自分らしく生きることを目指す社会にするために、太宰府で、そして女子大で努力を続けたいと思います。

特集

私のだざいふ、市政ニュース、トピックス2~3

新型コロナウイルスワクチン接種4~5

梅雨の災害リスクに備えましょう6~7

日曜証明書交付サービスが始まります8

男女共同参画週間のお知らせ9

移動図書館「すすく号」運行40周年記念10

歴史と文化の環境税条例を延長しました11

介護保険制度が改正されます12~13

情報公開制度・個人情報保護制度の運用報告14

市からのお知らせ15~19

連載20~28

なんでも情報コーナー29~37

太宰府の文化財38

市政ニュース

財産の活用 いきいき情報センター1階続々入居！

本市ではこれまで、いきいき情報センター1階の利活用について早期の施設活用を実現するためさまざまな議論や検討を重ねてきました。その結果、先行して次の2事業者との賃貸借契約を結びました。既にさらなる複数の相談を受けており、今後も積極的に話を進めて参ります。

「太宰府市サテライトオフィス整備支援事業補助金を活用した事業所開設に伴う建物等賃貸借契約」

コロナ禍のなか、3密の環境や高い賃料を嫌い、郊外の物件が再注目されていることから、自然や歴史、文化あふれる本市にとってチャンスとも言えます。

この具体策として、本市ではテレワークやワーケーションなどを目的として、サテライトオフィスを設置する事業者に対して、施設の改修などその開設費の一部を支援する「サテライトオフィス支援整備事業補助金」を創設しました。

このようななか、久留米市や福岡市を拠点とする(株)西日本測量設計(橋原靖弘代表取締役専務)から本市を新たな拠点としたいとの意向と提案を受け、新たな事務所の開設に向けた賃貸借契約を結びました。



調印式の様子

「JA 筑紫の支店・出張所建て替え工事に伴う建物等賃貸借契約」

JA筑紫太宰府中央支店・榎寺出張所の建て替え工事に伴い、いきいき情報センター1階部分を仮店舗として使用するため、2年間の賃貸借契約を、筑紫農業協同組合と取り交わしました。

筑紫農業協同組合の白水清博代表理事組合長は「太宰府市とのご縁で最適な場所が見つかり、利用者に安心してご利用いただけます」と話しました。



調印式の様子